

# 令和5年度 公益財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

当法人の目的である“ふくしまの未来を担う青少年の健やかな成長と、女性も男性も個人として尊重され、互いに支えあい、共に責任を担う社会づくり”を目指して、法人経営計画及び年度事業計画に基づき事業を行ってまいりました。

また、福島県青少年会館及び福島県男女共生センターそれぞれが、施設の効率的・効果的な運用に努め、設立趣旨に沿った事業を積極的に展開するとともに、相互に連携しながら運営の充実に努めてまいりました。

さらに、公益財団法人としての使命や役割を踏まえ、より一層公益性を高めた運営に努めてまいりました。

## 1. 評議員会に関する事項

回	期日	審議事項	結果
臨時	令和5年 4月26日	議案第1号 評議員の辞任に伴う補欠選任について (決議の省略)	可決
定時(第 1回)	令和5年 6月14日	議案第1号 令和4年度事業報告について 議案第2号 令和4年度収支決算について 議案第3号 役員を選任について	可決 可決 可決
臨時	令和5年 8月1日	議案第1号 評議員の辞任に伴う補欠選任について (決議の省略)	可決
臨時	令和5年 11月1日	議案第1号 評議員の辞任に伴う補欠選任について (決議の省略)	可決
第2回	令和6年 3月26日	議案第1号 令和5年度収支補正予算について 議案第2号 令和6年度事業計画について 議案第3号 令和6年度収支予算について 議案第4号 資金調達及び設備投資の見込みについて	可決 可決 可決 可決

## 2. 理事会に関する事項

回	期日	審議事項	結果
臨時	令和5年 4月19日	議案第1号 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について (決議の省略)	可決
第1回	令和5年 5月26日	議案第1号 令和4年度事業報告について 議案第2号 令和4年度収支決算について 議案第3号 令和5年度定時評議員会の開催について 議案第4号 個人情報の保護に関する規程の廃止について	可決 可決 可決 可決

臨時	令和5年 6月9日	議案第1号 役員の選任(案)について(決議の省略)	可決
臨時	令和5年 6月16日	議案第1号 理事の役職の決定について(決議の省略)	可決
臨時	令和5年 7月25日	議案第1号 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について(決議の省略)	可決
臨時	令和5年 9月6日	議案第1号 青少年会館施設使用規程の一部改正について(決議の省略)	可決
臨時	令和5年 10月24日	議案第1号 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について(決議の省略)	可決
第2回	令和6年 3月12日	議案第1号 令和5年度収支補正予算について 議案第2号 令和6年度事業計画について 議案第3号 令和6年度収支予算について 議案第4号 資金調達及び設備投資の見込みについて	可決 可決 可決 可決

### 3. その他の事項

期 日	事 項
令和5年 5月19日	令和4年度会計及び業務執行状況の監査執行
令和5年 5月9日	令和5年度第1回法人経営会議 (1) 法人経営会議設置要綱の改正について (1) 令和4年度事業報告(法人・会館、共生センター)案について (2) 令和4年度収支決算(法人・会館、共生センター)案について (3) 法人役員改正案について (4) 理事の役職決定案について (5) 個人情報の保護に関する規程の廃止及び個人データ取扱要領の策定について
令和5年 8月22日	令和5年度第2回法人経営会議 (1) 令和4年度事業実績(事業報告・収支決算)の課題について (2) 二館の今年度経営概況(5年6月末日)について
令和5年 11月21日	令和5年度第3回法人経営会議 (1) 令和5年度上半期の経営状況について
令和6年 3月5日	令和5年度第4回法人経営会議 (1) 令和5年度第2回理事会提出議案(事業計画・収支予算等)について

# 令和5年度 事業実績報告書

“ふくしまの未来を担う青少年の健やかな成長と、女性も男性も個人として尊重され、互いに支えあい、共に責任を担う社会づくり”への貢献をモットーに、「法人経営計画」に基づいて各種事業に取り組みました。

また、公益財団法人としての役割と責務を十分に踏まえるとともに、福島県の施策との関連性の維持、深化を図り、活動拠点である福島県青少年会館と福島県男女共生センター間の連携を強化しながら、公益性を一層高めた法人運営に努めました。

さらに、震災・原発事故から12年が経過し、復興に向けた様々な取り組みが進められる中で、当法人としても、復興に寄与するよう努めました。

## ◎ 福島県青少年会館の主な事業

宿泊事業休止初年度となった令和5年度の青少年会館の運営については、築44年となって施設・設備の老朽化が進んでいることを踏まえ、予算の範囲内で修繕・更新を行いながら、研修室や体育館の利用促進に努めました。

青少年の育成については、青少年団体等と連携しながら各種イベントを実施するなど、子ども・若者の健やかな育成のための活動に取り組んだほか、会館の情報ステーションや2階ロビーなどを活用し、情報発信を行いました。

また、福島県からの委託により運営している「ふくしま結婚・子育て応援センター」については、結婚マッチングシステム「はぴ福なび」の運用を始めとする事業内容の充実を図り、県内企業、団体等からの御支援・御協力をいただきながら、若者・子育て世代への幅広いサポート活動を展開しました。

以上のようなソフト・ハード両面にわたる事業を着実に実施しながら、職員一丸となって安定的経営に努めました。

### 1 青少年会館管理運営事業

#### (1) 経営計画の着実な実行

「公益財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構経営計画（令和5年度～令和9年度）」に沿って、当館に求められる使命と役割、施設の安全・安心の確保、経営の安定化に向けた財源確保などの諸課題を踏まえながら、計画目標の着実な達成を目指して努力しました。

令和5年度収支差額は、経営計画ではマイナス7,648千円と見込んでいましたが、研修室の利用が好調だったことなどにより、決算ではマイナス957千円となりました。

#### (2) 施設利用の促進

一部の和室にカーペットを敷き、テーブルと椅子を設置するなど、利用しやすい環境づくりに努め、施設の稼働率向上を図りました。

また、ホームページやリーフレット等を活用して当館の機能や利便性を広くP

Rし、青少年団体はもとより、企業や各種団体にも利用を働きかけました。  
 さらに、地域の事業所や施設等との連携、協力関係の構築に努め、施設利用を促進しました。

(3) 業務の見直しによる経費の節減等

サービスの維持・向上に配慮しながら、経費の節減に向け、業務全般にわたり  
 不断の見直しを行いました。

特に、施設・設備の保守管理や修繕、植栽、環境美化等については、可能な限り職員が対応し、経費の節減に努めました。

(4) 施設・設備の維持補修

令和5年度はピロティ天井改修や機械室の防水壁設置などを、県からの補助を受けて計画的に実施したほか、冷暖房設備の部品交換や、大研修室カーテンレール改修など、突発的な不具合に適宜対応しました。

財源は県からの修繕補助金が13,424千円、会館の独自財源が3,218千円となりました。

2 福島県青少年育成県民会議連携事業

(1) ふくしま青少年育成セミナー

青少年を取り巻く社会環境の変化や、本県の青少年が抱える様々な課題や困難について理解を深めるとともに、青少年と向き合う大人や親の心構えや姿勢などについて考えるためのセミナーを、福島県青少年育成県民会議と共催で実施しました。

対 象 者	① 現在子育て中の方や、青少年の育成に関心のある方 ② 青少年育成団体やPTA、地域団体の指導者など
主な内容	第1回 日 時 令和5年6月24日(土) テーマ 「ヤングケアラーを支える社会を目指して」 講 師 医療創生大学心理学部教授 鎌田真理子 氏 参加者 50名 第2回 日 時 令和5年9月2日(土) テーマ 「SNSと日常生活」 講 師 NPO法人日本コンピュータ振興協会理事長 根本雅昭 氏 参加者 25名

(2) 各種大会等への運営協力

福島県青少年育成県民会議が主催する「少年の主張福島県大会」及び「福島県青少年健全育成推進大会」の運営に協力したほか、「家庭の日」作文、絵画・ポスターコンクール作品の審査や優秀作品の掲示などで協力しました。

### 3 情報収集、提供事業

#### (1) ホームページ利活用促進事業

当館が実施する各種事業を始め、青少年健全育成活動や青少年の社会参加活動に関する情報を提供するとともに、当館施設の利用促進に向けて、ホームページによる情報発信を行いました。

主な内容	① ホームページの管理・運営 ② 法人組織や事業計画、事業報告等の公表 ③ 青少年育成事業の紹介や参加呼びかけ ④ 青少年会館の施設紹介と利用呼びかけ、予約空き状況案内
------	---

#### (2) 青少年情報ステーション事業

当館が実施する各種事業や、青少年健全育成活動、青少年の社会参加活動に関する情報を提供しました。

主な内容	① 青少年に関する各種情報や資料の収集 ② 資料の展示や掲示、配布 ③ 県内市町村や関係機関との連携
------	--

#### (3) 青少年育成活動の企画支援及び指導者等紹介あっせん事業

青少年の健全育成に取り組む各種団体が開催する地域活動、青少年の研修活動、レクリエーション活動などに対し、福島県青少年育成県民会議など関係機関・団体と連携して企画・運営に関するノウハウの提供、会場や講師・指導者の紹介、あっせんなどを行いました。

### 4 青少年健全育成事業

#### (1) 「夏の思い出」ものづくり体験事業

県を代表する伝統工芸品の一つ「会津本郷焼」窯元の陶芸家を指導者に迎え、主に小学校高学年を対象に、小皿や茶碗等を作る陶芸教室を開催しました。

この事業は、地域の伝統に触れながら、「ものづくり」の作業をとおして、製作過程の課題解決や、作品完成時の達成感を体験してもらうものです。

参加者	小学生（4年以上）及び中学生 20名
主な内容	指導者：会津本郷焼 宗像窯9代目 宗像 <sup>としのり</sup> 利訓 氏 会場：福島県青少年会館 期 日：令和5年7月22日（土）

#### (2) 福島っ子ガンバレ・レクリエーション普及事業

レクリエーション活動をとおして世代間交流の機会を提供するとともに、子どもたちに「元気と笑顔」を届けるためのイベントを開催しました。

参加者同士の交流と親睦を深めるため、誰もが楽しめる知的卓上ゲーム「マンカラ」の講習会と競技会を組み合わせ、福島県レクリエーション協会との共

催で実施しました。

参加者	小中学生：39名 一般：23名
主な内容	① マンカラ競技の講習会 ② マンカラ交流選手権大会 会 場：福島県青少年会館 期 日：令和6年3月2日（土）

### （3）青少年活動支援事業

#### ① 青少年育成活動助成事業

青少年の健全育成を目的として、当館施設を利用した社会体験活動、自然体験活動などのプログラムに取り組む団体を対象に、活動経費の一部を助成し、当該団体による青少年健全育成活動を支援するものです。

対象者	当館を利用する子ども会、各種青少年団体、青少年関係NPOなど
主な内容	① 助成を希望する団体を公募しその適格を審査。 ② 活動内容を精査の上、予算の範囲内で規定に沿って助成。

令和5年度は助成実績がありませんでした。

#### ② 「成果発表・作品展示」支援事業

青少年が自ら活動している団体や、青少年の健全育成に取り組んでいる団体の活動成果を発表する場として、当館のロビーや研修室、ピロティなどを提供する事業です。絵画や書道等の作品を展示するためのスペースを無償で提供しました。

対象者	学校のクラブ活動、地区子ども会、地域や職場のサークルなどの青少年団体及び青少年健全育成を推進している団体 (営利活動、政治活動、宗教活動等を目的とする団体は除く。)
主な内容	青少年が制作した様々な作品の展示スペースを青少年会館内に用意して提供することで、来館者を始めとする多くの方に作品を紹介するとともに、青少年の更なる制作活動を促進。

#### ③ 青少年会館ボランティア団体活動支援事業

当館が実施する事業などにボランティアとして参加・協力できる団体を対象に、青少年育成等の活動を支援するものです。

令和5年度は該当ありませんでした。

### （4）関係団体連携強化事業

当館を利用して研修や合宿を実施する団体のプログラムが効果的・効率的に運営できるよう支援するとともに、当館に入居している青少年関係団体等の活動を促進するよう努めました。

① 当館の施設を利用する団体

当館を利用する団体が、利用目的を達成できるよう可能な限り協力、支援し、それぞれのプログラム等が円滑に進められるよう努めました。

② 各種青少年関連団体等

当館施設建設運動を主導した福島県青少年団体連絡協議会を始め、当館の入居団体（ボーイスカウト福島連盟、ガールスカウト福島県連盟、福島県PTA連合会、福島県高等学校PTA連合会、NPO法人福島県レクリエーション協会）、青少年活動に関係する団体、施設、法人等と連携を深め、これらの団体等の取組に対して積極的に共催や後援を行うとともに、各団体等が行うイベントの告知や参加者募集、活動紹介等について、情報コーナーへの掲示などにより支援しました。

5 ふくしま結婚・子育て応援センター運営事業

結婚を望む人が結婚し、誰もが安心して子どもを産み育てることのできる環境を整備するため、福島県からの委託を受け、ふくしま結婚・子育て応援センターを運営し、結婚から子育てまでを支援する様々な事業に取り組みました。

(1) 「結婚」、「妊娠・出産」、「子育て」に関する相談業務

「結婚」、「妊娠・出産」、「子育て」に関する相談員を配置し、電話・面談・メールにより相談に応じるほか、必要に応じて関係専門機関と連携を図りながら対応しました。

その他、「はぴ福なび」システム及び世話やき人に関する問合せ等は、センター職員が随時対応しました。

対象者	一般県民	
主な内容	1. 結婚から子育てまで各段階に対応し、面接による直接相談と電話、メールでの相談	
	2. 妊娠・出産、子育てに関しては、関係専門機関と連携を図りながら対応 「結婚」相談 . . . . . 世話やき人が担当 「妊娠・出産」、「子育て」相談 . . 保育士等の資格のある世話やき人及び福島県助産師会が担当	
	3. 相談日 結婚分野 . . . . . 木・土曜日 妊娠、出産分野 . . . 火曜日 子育て分野 . . . . . 木曜日	
	4. 相談(問合せ含む)件数	3, 098件 うち、結婚分野 2, 784件 妊娠・出産分野 285件

子育て分野		29件
5. 子育てファミリーへの支援		
① 親子のひろば（ベビー）	50回開催	258組
うち、ベビーマッサージ	12回開催	117組
うち、リフレッシュ体操	12回開催	85組
上記以外	26回開催	56組
② 親子のひろば（キッズ）	49回開催	16組
うち、リフレッシュ体操	11回開催	4組
上記以外	38回開催	12組

(2) 「世話やき人」の養成及び市町村との業務連携

「結婚」、「妊娠・出産」、「子育て」について助けを必要とする方々を支援するため、様々な支援をボランティア活動で行う「世話やき人」を養成しそのスキルアップを図るため、研修会や情報交換会を開催しました。

また、地域に根ざした結婚支援網の強化に向けて、市町村の結婚ボランティアとの連携に努めました。

対象者	一般県民
主な内容	① 人材の掘り起こしと登録の促進
	② 「世話やき人」の養成
	③ 世話やき人登録者数 94人（令和6年3月31日現在）
	世話やき人延べ人数 120人
	うち結婚分野 89人
	妊娠・出産分野 9人
	子育て分野 22人
	④ 関係実績（令和6年3月31日現在）
	世話やき人による成婚数 24組（累計198組）
	世話やき人研修会 21回実施
世話やき人情報交換会 25回実施	
うち世話やき人と市町村の結婚ボランティアとの情報交換会 9回実施	

(3) ふくしま結婚サポーター企業との連携

社会全体で結婚を希望する独身男女の出会い等を応援するため、結婚支援の取組を推進する企業や団体等（以下、「ふくしま結婚サポーター企業」という。）に対して、応援センター事業等を周知し、連携を深めました。



(6) 市町村へのスーパーバイザー等派遣

市町村の婚活支援事業の取組に対して、スーパーバイザー・世話やき人等を派遣して結婚支援に関する助言を行うほか、複数市町村が連携して取り組む広域的な婚活事業の展開を支援しました。

対象者	市町村
主な内容	① 市町村等訪問事業 各地方振興局及び関係市町村を訪問し、意見交換、情報収集に努めた。 ② 市町村が取り組む婚活支援事業への支援、助言等 イベント企画、対策協議会等への参画 ①+② 年間活動実績 延べ23回

(7) ふくしまイクメンセミナーの開催

安心して出産・子育てできる環境づくりを推進するため、プレパパ及び子育て中の男性を対象としたセミナーを開催し、個別相談や意見交換会等を実施することにより、男性の積極的な家事・育児参画を後押ししました。

対象者	一般県民
主な内容	① プレパパ、子育て中の男性等を対象としたセミナー ② セミナーの開催と併せた相談会 県内5方部で延べ6回開催 参加者数 67家族 138人

(8) 男性の家事・育児啓発動画の作成

男性の家事・育児参画を促すため、当事者である男性の意識改革と、社会全体で子育てを応援する機運醸成を広く図ることを目的として、啓発動画を作成しました。

(9) 「結婚・子育て」支援に関する情報発信・提供

スマートフォンへの最適化やSNSとの更なる連携強化を図るためホームページを全面リニューアルし、これまで以上に広く情報発信に取り組むほか、当館2階に専用の「情報コーナー」を設置し、県内における結婚から子育てまでに関する様々な情報を提供しました。

# 福島県青少年会館利用状況

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

## 1. 研修室

室名	使用可能日数	使用日数	日数使用率(%)	使用可能単位数	使用単位数	単位使用率(%)	収入額(円)
大研修室	355	197	55.5%	950	344	36.2%	8,866,692
小研修室	355	91	25.6%	950	137	14.4%	486,830
第1研修室	355	180	50.7%	950	336	35.4%	3,224,236
第2研修室	355	147	41.4%	950	250	26.3%	2,069,960
第3研修室	355	199	56.1%	950	297	31.3%	1,307,040
第5研修室	355	143	40.3%	950	230	24.2%	1,775,798
第6研修室	355	236	66.5%	950	427	44.9%	1,544,496
和室等	-	206	-	-	516	-	1,814,595
合計	2,485	1,399	56.3%	6,650	2,537	38.2%	21,089,647

## 2. 体育館

室名	使用可能日数	使用日数	日数使用率(%)	使用可能単位数	使用単位数	単位使用率(%)	収入額(円)
体育館	355	354	99.7%	3,886	2,276	58.6%	2,632,960

# 令和5年度 月別利用状況

区分	月別												計	構成比
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
研究	560	574	574	574	588	539	581	546	525	511	525	553	6,650	—
青少年	42	45	43	42	100	47	64	41	58	61	54	42	639	25.2%
一般	137	145	186	138	94	135	178	159	134	157	193	242	1,898	74.8%
計	179	190	229	180	194	182	242	200	192	218	247	284	2,537	100.0%
利用	32.0%	33.1%	39.9%	31.4%	33.0%	33.8%	41.7%	36.6%	36.6%	42.7%	47.0%	51.4%	38.2%	—
体育	320	328	328	339	345	318	342	321	309	300	309	327	3,886	—
青少年	129	149	134	171	193	144	189	132	144	135	137	223	1,880	82.6%
一般	27	52	56	24	28	28	40	36	29	21	25	30	396	17.4%
計	156	201	190	195	221	172	229	168	173	156	162	253	2,276	100.0%
利用	48.8%	61.3%	57.9%	57.5%	64.1%	54.1%	67.0%	52.3%	56.0%	52.0%	52.4%	77.4%	58.6%	—

(注)9/4、11/3、1/8、2/12、3/11は休館日、土日祝日、12/28は17時までの営業

# 過去5か年利用者区分別 利用状況集計表

年 度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
	内訳		内訳		内訳		内訳		内訳		
	合計	構成比	合計	構成比	合計	構成比	合計	構成比	合計	構成比	
利用者区分	(件・時間・人)	(%)	(件・時間・人)	(%)	(件・時間・人)	(%)	(件・時間・人)	(%)	(件・時間・人)	(%)	
研 修 室	青少年	1,115	38.4%	1,012	40.1%	903	34.4%	587	26.0%	639	25.2%
	一 般	1,789	61.6%	1,512	59.9%	1,719	65.6%	1,669	74.0%	1,898	74.8%
	合 計	2,904	100.0%	2,524	100.0%	2,622	100.0%	2,256	100.0%	2,537	100.0%
利 用 体	利用率(%) (利用件数/ 21件×稼働日) ※R4は18件※R5 以降は休館日あり	38.4%	/	33.5%	/	34.8%	/	34.9%	/	38.2%	/
		(稼働日数359日)		(稼働日数360日)		(稼働日数359日)		(稼働日数359日)		(稼働日数355日)	
育 館	青少年	2,279	77.0%	2,118	86.0%	2,580	84.8%	2,357	84.8%	1,880	82.6%
	一 般	681	23.0%	346	14.0%	461	15.2%	423	15.2%	396	17.4%
	合 計	2,960	100.0%	2,464	100.0%	3,041	100.0%	2,780	100.0%	2,276	100.0%
利 用 宿	利用率(%) (利用時間数/ 12時間×稼働日) ※R5以降土日祝17 時まで、休館日あり	68.5%	/	57.2%	/	70.6%	/	64.6%	/	58.6%	/
		(稼働日数359日)		(稼働日数360日)		(稼働日数359日)		(稼働日数359日)		(稼働日数355日)	
泊 利 用	小・中学生	747	19.7%	135	15.3%	50	13.1%	320	20.8%		
	青少年	1,621	42.7%	372	42.1%	148	38.7%	868	56.5%		
	一 般	1,428	37.6%	377	42.6%	184	48.2%	349	22.7%		
	合 計	3,796	100.0%	884	100.0%	382	100.0%	1,537	100.0%		
利 用	利用率(%) (利用人数/ 86人×稼働日) ※R4は81人	12.2%	/	2.9%	/	1.3%	/	5.3%	/		
		(稼働日数303日)		(稼働日数359日)		(稼働日数358日)		(稼働日数358日)			

(備考) 宿泊利用の小・中学生には、幼児を含んでいます。R5以降宿泊休止

# 福島県男女共生センター事業実施状況

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

福島県男女共生センターでは、本県の男女共同参画の実現をめざす拠点施設として広く県民に利用されるよう機能の充実に努めるとともに、男女共同参画に関する様々な情報を発信する情報事業、男女の自立と社会参加を促進するための自立促進事業、自主的な交流を支援する交流関連事業などを実施しました。

## 1 管理運営事業

男女共同参画社会実現のための実践的活動拠点として、センターの3つの機能（情報機能、自立促進機能、交流機能）を十分発揮できるよう、効果的・効率的な施設の管理・運営に努めたほか、原子力災害により避難された方に対し、避難により困難になっている地域コミュニティ活動の維持や地域生活における絆を深める活動を支援するため、宿泊料助成を実施するなど、東日本大震災の被災地・被災者の支援に取り組みました。

また、多くの人々に親しまれ、利用しやすい施設を目指して、広報用リーフレットの配布及び研修室や宿泊室等施設設備の一部改修等の環境整備を行い、利用促進に努めました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した施設利用については、回復傾向は見られますが、引き続き広報等による利用促進を図る必要があります。

※令和5年度 施設利用状況 別紙のとおり

## 2 情報関連事業

男女共同参画についての情報、専門図書、資料などを収集・提供し、男女が新しいパートナーシップを確立するための自己啓発及び活動等を支援しました。

また、情報ネットワークの充実に努めるとともに、県外男女共同参画施設の協力を得て、県内外に広く情報を発信しました。

### (1) 情報事業

#### ① 図書室運営

図書室において、男女共同参画社会形成の促進に寄与する図書や資料等約4万点を備え、閲覧及び貸出により利用に供しました。

内 容	・ 令和5年度来室者人数 16,726人 ・ 購入図書・資料の選定 令和5年度購入図書 146冊 ・ 図書・資料の収集、分類、整理並びに貸出、返却管理 図書貸出利用者数 延べ 1,551名 図書貸出冊数 延べ 3,985冊（うちDVD等4点） ・ レファレンスサービス件数 延べ 926件
-----	--

#### ② 情報提供

センターの活動内容をはじめとする男女共同参画に関する情報を、ホームページ及びメールマガジン(月1回発行)により提供しました。

内 容	・ センターホームページアクセス件数 延べ 138,617件 ・ センターメールマガジン配信件数(月1回) 842件 (令和6年3月末現在)
-----	--

### ③広報活動

男女共同参画の考え方や、センターの活動内容について、広報誌「未来館 NEWS」を発行し紹介するとともに、県政広報その他各種媒体を活用し、普及啓発・周知を図りました。

内 容	広報誌「未来館 NEWS」第85号～87号発行 各5,000部 県内の図書館、公民館、高等学校、市町村担当課、各都道府県担当課、全国の男女共同参画施設及び各種関係団体などに送付
-----	---

### (2) 調査研究事業

男女共同参画社会の形成を推進するため、現状を把握し、問題解決への道を探るための調査研究を行いました。

事業名	①地域課題調査・研究事業
内 容	県内の男女共同参画を推進するため、地域の課題の把握やその解決方法に関する調査・研究を公募し、実施しました。 テーマ：「農村における女性グループの地域社会への影響 ～福島県二本松市東和・岩代地域の歴史的変遷を踏まえて～」 研究代表者：法政大学大学院人間社会学科福祉社会専攻 小泉 琴子氏 テーマ：「福島県内における女性地方議員への調査」（令和5～6年度） 研究代表者：福島学院大学マネジメント学部地域マネジメント学科講師 竹田 香織氏

## 3 自立促進事業

### (1) 普及啓発事業

男女共同参画に関する講座や講演会などを開催し、男女平等に向けた意識変革をしながら、男女が互いに個人として自立し、責任を担う力をつけて共に社会参画できるよう支援しました。

事業名	①男女共生地域連携意見交換会
対象者	県内の公民館職員、県内の学生
内 容	県内各地域において館長と県民が、地域の男女共同参画に関する課題について自由な雰囲気話し合い、課題の整理・共有をしました。 「未来館トークサロン」 (1) テーマ：「公民館と男女共同参画」 開催日：令和5年11月30日（木） 出席者：県内の公民館館長等 8名 会 場：福島県男女共生センター (2) テーマ：「女性の政治参画」 開催日：令和5年12月6日（水） 出席者：会津大学短期大学部学生等 19名 会 場：会津大学短期大学部

事業名	②男女間における暴力の防止と被害者支援事業
対象者	県民

内 容	<p>県民を対象とし、社会的弱者になりがちな女性や子どもの暴力や虐待被害の予防を図るための啓発事業として、講演会を実施しました。</p> <p>※オンライン実施</p> <p>開催日：令和5年11月18日（土）</p> <p>講 師：にじいろ先生（中谷 奈央子氏） （性教育講師・思春期保健相談士）</p> <p>内 容：講演会「NOと言える子どもを育てる～自分の性を守り他者の性を大切にする性教育～」</p> <p>参加者：55名</p>
-----	--

事業名	③ダイバーシティ理解促進事業
対象者	県民
内 容	<p>性的マイノリティをテーマに、ダイバーシティの考え方についての理解を深め、多様性を認める社会の実現を目指した講演会を開催しました。</p> <p>※ハイブリット（会場及びオンライン）実施</p> <p>開催日：令和5年6月18日（日）</p> <p>参加者：51名（会場13名・オンライン38名）</p> <p>内 容：講演会「性の多様性を『地方』で考える」</p> <p>講 師：前川 直哉氏（福島大学教育推進機構准教授）</p>

事業名	④市町村男女共同参画促進事業
対象者	県民
内 容	<p>訪問相談等により地域の課題やニーズを把握し、その実情に応じた各種施策が実施されるよう支援しました。</p> <p>（パネルの貸与）</p> <p>○石川町：令和5年 9月 8日（金）～10月16日（月）</p> <p>○西会津町：令和5年10月27日（金）～11月26日（日）</p> <p>（事業等に関する相談・支援等）</p> <p>対象：5市町村 （須賀川市、鏡石町、矢吹町、泉崎村、石川町）</p>

事業名	⑤キラっ人さん活躍促進事業
対象者	県内企業の経営者・管理職等
内 容	<p>「ふくしま女性活躍推進シンポジウム2023」</p> <p>女性活躍促進に向けた気運の醸成や、職場・家庭における男女の意識改革を進めるため、女性活躍や働き方改革をテーマとしたトークセッション及び講演会、活動発表を開催しました。</p> <p>※ハイブリット（会場及びオンライン）実施</p> <p>開催日：令和5年8月4日（金）</p> <p>会 場：福島県男女共生センター</p> <p>参加者：277名（会場111名・オンライン166名）</p> <p>第1部 トークセッション</p>

	<p>「意思決定プロセスへの女性参画をめざして」</p> <p>始めに資生堂の取組紹介があり、福島県知事のもと、県内で活躍している女性、女性活躍等に取り組んでいる県内企業の代表者によるトークセッションを開催しました。</p> <p>出演者：山本 真希氏(株式会社資生堂 ダイバーシティ&amp;インクルージョン戦略推進部 グループマネージャー)</p> <p>渡部 雅子氏(会津オリンパス株式会社 人事総務部 EHS グループ 課長)</p> <p>菅野 恭子氏(株式会社小野中村 総務部長)</p> <p>小野 哲義氏(第一生命保険株式会社 福島支社長)</p> <p>内堀 雅雄(福島県知事)</p> <p>第2部 講演会</p> <p>「アンコンシャスバイアスを知る、気づく、対処する」</p> <p>講師：守屋 智敬氏(一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所 代表理事)</p> <p>第3部 活動発表</p> <p>(1) 「女性が抱える課題に対する意識調査」</p> <p>発表者：引地 知子氏(福島県国際女性教育振興会 副会長)</p> <p>(2) 「福島県相双地域沿岸部に居住する女性高齢者の災害時の避難行動意図に関する調査研究」</p> <p>発表者：浅尾 章彦氏(福島県立医科大学 保健科学部 作業療法学科 講師)</p>
--	---

事業名	⑥交流室ロッカー・交流展示スペース管理・運営
対象者	県民
内容	<p>男女共同参画社会の推進を目的とした活動を行う団体等に、ロッカーと活動の成果品を展示する場の貸し出しの他に、男女共同参画推進を目的とした広報物の展示等を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流室ロッカー貸出件数 4件</li> <li>・交流展示スペース貸出件数(のべ) 5件</li> </ul>

事業名	⑦男女共同参画週間パネル展 ※自主
対象者	県民
内容	<p>男女共同参画週間(6/23~6/29)に併せて、男性の家事・育児についての理解促進を図るための啓発パネルを展示しました。</p> <p>開催日：令和5年6月23日(金)~6月30日(金)</p>

事業名	⑧コロナ禍における女性のつながりサポート事業
対象者	生活に困難や不安を抱える女性
内容	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困難や不安を抱える女性が社会との絆やつながりを回復できるよう、相談の拡大実施と支援体制の強化を図りました。</p> <p>(1) 男女共生センター相談の拡大実施</p>

	<p>①専門相談「生活設計相談」（6回）</p> <p>②専門相談「法律相談」（1回）</p> <p>    専門相談「女性のためのカウンセリング」（1回）</p> <p>（2）NPO等団体による支援の実施</p> <p>    NPO等団体に委託し、電話相談、居場所の提供、出張相談、訪問相談、生理用品等の提供を行いました。</p> <p>    相談件数：1,676件</p> <p>    （委託団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人福島敬香会（県北）</li> <li>・NPO法人しんぐるぺあれんとF・福島（県中）</li> <li>・KAKECOMI（県南）</li> <li>・NPO法人寺子屋方丈舎（会津）</li> <li>・NPO法人あさがお（相双）</li> <li>・NPO法人Commune with 助産師（いわき）</li> </ul> <p>（3）生理用品の提供</p> <p>    男女共生センター及び青少年会館の女性トイレに生理用品を配置するとともに、生活に不安や困難を抱える女性等に男女共生センター相談室・福祉機器展示室・受付、チャレンジ支援相談コーナー（郡山・会津・いわき相談コーナー）、青少年会館において生理用品を配布しました。</p> <p>    また、市町村や大学・短大、専修学校、子ども食堂を通じて生理用品を配布しました。</p> <p>（4）相談員等研修会</p> <p>    女性の支援に関わる相談員等が、女性に寄り添った相談を行うための研修会を開催しました。</p> <p>○第1回</p> <p>    開催日：令和5年12月5日（火）</p> <p>    会 場：福島県男女共生センター</p> <p>    参加者：16名</p> <p>    内容：女性の支援に求められる傾聴を学ぶ</p> <p>    講師：安部 郁子氏（福島大学大学院人間発達研究科特任教授）</p> <p>○第2回</p> <p>    開催日：令和6年1月16日（火）</p> <p>    参加者：10名</p> <p>    内容：精神疾患等困難を抱えた女性の相談対応</p> <p>    講師：安部 郁子氏（福島大学大学院人間発達研究科特任教授）</p>
--	---

## （2）研修事業

男女共にその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会に向け、家庭や仕事、地域活動などの生活のあらゆる場面においてその実現を阻害する固定的性別役割分担意識を解消するための事業や、男女のライフスタイルや社会情勢の変化に伴い多様化する課題・ニーズに合わせ個人が自発的に課題解決を図ることができるようにエンパワーメントする事業を開催しました。

事業名	①未来館エンパワーメント塾
対象者	働いている（これから働きたい）女性

内 容	<p>女性活躍を推進するため、女性が職場や地域でリーダーになることを前向きに捉え、自身の能力・スキルに自信を持って活躍できるよう女性の人材育成を図るためのセミナーを開催しました。</p> <p>「働き女子のごほうびセミナー」</p> <p>○第1回 ※オンライン実施 開催日：令和5年6月24日(土) 参加者：12名 内 容：「自己主張（アサーティブ）トレーニング」 講 師：丹羽 麻子氏（男女共同参画センター横浜 相談センター長）</p> <p>○第2回 ※オンライン実施 開催日：令和5年7月1日（土） 参加者：16名 内 容：「想いが伝わる表現力を身につける」 講 師：山田 ズーニー氏（文章表現インストラクター、教育書の作家、慶應義塾大学非常勤講師）</p> <p>○第3回 ※オンライン実施 開催日：令和5年7月15日（土） 参加者：18名 内 容：「仕事も人生も前向きに生きるためのマインドフルネス」 講 師：朝野 かおり氏（しあわせリーダーズ合同会社協働代表）</p>
-----	---

事業名	②男性のための男女共同参画基礎講座
対象者	県内企業の管理職、社員、県民
内 容	<p>男女が、年齢や性別に関わらずさまざまな分野で活躍するため、職場や家庭、地域において男女共同参画の視点による「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の取れた生き方について考える機会を提供し、企業や個人の課題解決・実践を支援しました。</p> <p>○イクボス養成講座 ※オンライン実施 開催日：令和5年11月2日（木） 参加者：42名 内 容：講演「“イクボス式” マネジメント講座～経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス～」 講 師：川島 高之氏（NPO 法人ファザーリング・ジャパン理事）</p> <p>○イクボス講座実践編 開催日：令和6年3月6日（水） 参加事業所：東北アンリツ株式会社 講師・ファシリテーター：横田 智史氏（株式会社ペンギンエデュケーション代表取締役）</p> <p>内 容： （1）講義 ワーク・ライフ・バランスに関する基本的な考え方やその必要性とメリット、職場作り等 （2）ワークショップ 職場の雰囲気や組織風土についての課題を抽出、解決案の検討</p>

事業名	③女性のチャレンジ応援講座
対象者	これから起業をしたい女性、起業に興味のある女性
内容	<p>起業への心構えやその方法、魅力あるサービスや商品づくり等について学ぶ講座を開催しました。</p> <p>開催日：令和5年11月25日（土） ※オンライン実施 参加者：8名</p> <p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○オリエンテーション 講師：重巢 敦子氏 (キャリアコンサルタント、リファインアカデミー株式会社 代表取締役、ふくしま女性起業家活躍推進協議会会長)</li> <li>○起業家紹介 <ul style="list-style-type: none"> <li>・横尾 恵美氏 (地域・子育て情報発信を行う「しゅふコミ」代表)</li> <li>・堀越 美保氏 (PCやSNS教室・動画作成等の「にじいろ企画」代表)</li> <li>・関口 朋子氏 (セミナー講師、ラジオパーソナリティ、司会業、日本酒学会代表理事)</li> <li>・小形 リカ氏 (エステ業「(有)ティクレカーナ」代表取締役社長) ※コーディネーター 重巢 敦子氏</li> </ul> </li> <li>○グループセッション 起業や運営等に関する起業家と参加者の意見交換</li> </ul>

事業名	④教師のための次世代育成人権セミナー
対象者	県内の教職員、教育事務所並びに市町村教育委員会・男女共同参画推進部局の関係者
内容	<p>教職員等を対象とし、人権や男女共同参画の正しい認識を深めるとともに、児童生徒への指導実践に資する講座を開催しました。</p> <p>開催日：令和6年1月27日（土） ※オンライン実施 参加者：14名</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○講義「学校における男女共同参画」※令和4年度教員向け配信動画 講師：津田 理恵 (福島県男女共生センター副主査)</li> <li>○講演 演題：「学校におけるセクシュアルマイノリティ理解について」 講師：梅宮 れいか氏 (福島学院大学教授)</li> <li>○グループワーク ※福島県教育委員会との共催事業として開催</li> </ul>

事業名	⑤研修講師派遣事業
対象者	県民
内容	市町村、企業やNPO等の市民団体が実施する男女共同参画を推進する研修及び学習会等に当センター職員等を派遣するほか、外部講師の情報提供を行い、地域における男女共同参画社会実現に向けた取組を支援しました。

<p>(1) 職員派遣 派遣回数：8回（参加者数：276名）</p> <p>(2) アドバイザー派遣 派遣回数：11回（参加者数：381名）</p>
--

事業名	⑥市町村男女共同参画担当者研修
対象者	市町村担当者
内 容	<p>(1) 市町村男女共同参画担当者研修 開催日：令和5年6月7日（木） 参加者：35名（23市町村29名、郡山市男女共同参画センター2名、地方振興局4名）</p> <p>内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○開会あいさつ 中村 英康氏（県生活環境部男女共生課 課長）</li> <li>○講義「男女共同参画社会って何？」 講 師：千葉 悦子（福島県男女共生センター 館長）</li> <li>○福島県男女共生課からのお知らせ 担 当：岡部 聡氏（県生活環境部男女共生課 副主査）</li> <li>○福島県男女共生センターからのお知らせ 担 当：センター職員</li> <li>○講話「移住・転入女性が暮らしやすい福島を目指して」 講 師：藤本 菜月氏（一般社団法人 tenten 代表理事）</li> <li>○意見交換 担当業務の課題等についての意見交換</li> </ul> <p>(2) 市町村男女共同参画担当者会議 開催日：令和6年2月2日（金） 参加者：15名（12市町村12名、地方振興局3名）</p> <p>内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○福島県男女共生課からのお知らせ 担 当：中村 英康氏（県生活環境部男女共生課 課長）</li> <li>○福島県男女共生センターからのお知らせ 担 当：センター職員</li> <li>○市町村の取組について 「自分のまちで男女共同参画を推進するために」 発表者：角田 祥子氏 (石川町教育委員会生涯学習課 生涯学習係長兼公民館係長)</li> <li>○女性活躍推進の取組について 講 師：石山 純恵氏（株式会社クリフ 代表取締役）</li> <li>①講 演</li> <li>②グループワーク</li> </ul> <p>(3) 市町村男女共同参画担当者グループトーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○第1回 開催日：令和5年6月7日（木） 【市町村男女共同参画担当者研修内実施】</li> <li>○第2回</li> </ul>

	<p>開催日：令和5年8月17日（木） ※オンライン実施  参加者：20名（14市町村17名、地方振興局3名）  内 容：  ①事例発表  「喜多方市における防災部局と連携した男女共同参画推進事業について」  発表者：佐藤 史弥氏  （喜多方市企画政策部企画調整課 主事）  ②グループトーク  「他部局と連携した男女共同参画の推進について」の意見交換  ○第3回 県南地域意見交換会  開催日：令和5年10月18日（水）  参加者：6名（4市町村5名、1地方振興局）  内 容：  ①福島県男女共生課からのお知らせ  担 当：岡部 聡氏（県生活環境部男女共生課 副主査）  ②福島県男女共生センターからのお知らせ  ③意見交換会  次年度の男女共同参画事業の課題や今後の展望などのついでの意見交換  ○第4回  開催日：令和6年2月2日（金）  【市町村男女共同参画担当者会議内実施】</p>
--	---

事業名	⑦復興・防災と男女共同参画に関する人材育成事業
対象者	自治体職員、社会福祉協議会職員
内 容	<p>(1) 男女共同参画の視点からの防災研修  「男女共同参画の視点からの防災研修プログラム」「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」(※共に内閣府男女共同参画局作成)や避難所運営シミュレーションツール「さすけなぶる」(※福島大学うつくしまふくしま未来支援センター作成)を用いて、地域における復興・防災における男女共同参画の推進を担う人材育成研修を行いました。  開催日：令和5年12月12日（木）  参加者：22名（11市町村16名、3振興局3名、県災害対策課1名、県男女共生課1名、県社会福祉協議会1名）  内 容：  ・講義「復興防災における男女共同参画・多様性の視点の必要性」  担当：センター職員  ・グループワーク「さすけなぶる」  講 師：北村 育美氏  （福島大学地域未来デザインセンター客員研究員）</p> <p>(2) 多様性配慮の視点での防災・減災</p>



内 容	性別にとらわれず生き生きと生きていくために、広く生活全般に係る相談を行いました。 相談内容：広く生活全般に関する相談 配偶者等からの暴力に関する相談 男性相談員による相談 相談方法：電話・面接 相談員：男女共生相談員（嘱託職員）2名、男性相談員1名 相談件数：1,467件
-----	--

事業名	②専門相談
対象者	県民 ※カウンセリングは女性限定
内 容	法律問題や健康に関することについて、専門家による相談を行いました。 相談内容：法律相談（月1回、2時間）相談件数 35件 健康相談「女性による女性のためのカウンセリング」（月2回、各回一人1時間程度） 相談件数 11件 女性のための生活設計相談（年4回）相談件数 3件 相談方法：面接（予約制） 相談員：法律相談 弁護士 健康相談（カウンセリング） 女性臨床心理士 生活設計相談 ファイナンシャルプランナー

事業名	③チャレンジ支援相談
対象者	内職や就業（再就職）を希望する女性等
内 容	内職希望者からの相談や内職求人受付、あっせんのほか、女性の就業援助に関する相談、情報提供を行いました。 相談方法：電話・面接 相談員：女性就業援助相談員（嘱託職員） ※配置個所 男女共生センター及び県内3ヶ所（郡山、会津若松、いわきの県地方振興局内）に相談コーナーを設置 相談件数：1,089件 内職あっせん者数：170名

#### (4) 介護実習・普及センター事業

高齢者介護の実習等を通じて、地域住民への基礎知識、介護技術の普及を図るとともに、「高齢化社会は国民全体で支えるもの」という考え方を地域住民に広く啓発する事業を実施するほか、福祉用具の展示並びに住宅改修を含めた相談体制の整備等を行いました。

事業名	①介護実習・普及事業
対象者	県民、介護専門職員
内 容	介護の実習等を通じて、県民への介護知識、介護技術の普及を図るため、社会福祉法人福島県社会福祉協議会に業務を委託して各種講座等を

	<p>実施しました。</p> <p>(1) 県民介護講座の実施  初級介護講座、介護ワンポイント講座、介護実技基本講座、オーダーメイド介護講座、認知症キャラバン・メイト養成研修  実施講座数：46回、46日  参加者数：1,259名</p> <p>(2) 地域介護専門職員研修の実施（介護専門職員を対象）  企画力アップ研修、相談援助面接研修、福祉用具・住宅改修研修、排泄ケア研修、ピンポイント介護技術研修  実施講座数：17回、25日  参加者数：315名</p> <p>(3) 介護セミナー ※オンライン実施  「ダブルケア（育児・障がい・介護）を支援者や職場が支えるために」  開催日：令和6年2月8日（木）  参加者数：209名</p> <p>(4) 福島県介護研修事業検討委員会の開催  開催日：令和5年12月14日（木）</p>
--	--

事業名	②福祉用具・住宅改修普及支援事業
対象者	県民
内容	<p>(1) 福祉機器展示室の運営  福祉機器展示室において、各種用具を展示するとともに、福祉機器企画相談員（嘱託職員2名）を配置し、一般県民からの福祉用具・住宅改修に関する相談を受け、助言指導を行いました。  来所者数：2,852名  相談件数：121件（相談内容件数164件）  相談内容：パーソナルケア関連（43件）、移動機器（28件）</p> <p>(2) 福祉用具・住宅改修普及支援協議会の開催 ※オンライン実施  福祉用具・住宅改修の普及事業の円滑な実施を図るため、理学療法士、作業療法士、建築士、福祉用具取扱業者、行政関係者からなる協議会を開催し、優良な機器の選考・展示方法及び住宅改修相談等について検討を行いました。  開催日：令和5年12月14日（金）</p>

#### 4 交流関連事業

##### (1) 交流関連事業

県民が、主体的に男女共同参画についての問題に取り組む実践的活動拠点としての機能を発揮するため、自主的な交流の場として男女共生センターを提供するとともに、男女の平等と自立を目指す個人や様々な団体・グループ間の相互交流を促進するための事業を実施しました。

事業名	①未来館フェスティバル
対象者	県民

内 容	<p>男女共同参画社会の意識啓発を図るとともに、県民相互の交流を促進するため、未来館フェスティバルを開催しました。</p> <p>開催日：令和5年9月8日（土）</p> <p>参加者：延べ1,109名</p> <p>(1) シンボルイベント</p> <p>内 容：講演「私の居場所の作り方」</p> <p>講 師：ジェーン・スー氏（コラムニスト、ラジオパーソナリティ）</p> <p>参加者：410名</p> <p>(2) 県民参加企画</p> <p>内 容：県民が自主的に企画・運営を行った活動紹介、パネルディスカッション、ワークショップ、パネル展示等</p> <p>参加数：14企画</p> <p>(3) 交流会</p> <p>内 容：県内の団体、自治体職員による情報交換、交流</p> <p>参加者：26名</p>
-----	--

事業名	②男女共生次世代交流会
対象者	県内の大学、専門学校の学生等
内 容	<p>若者世代を対象として、ライフステージごとの生き方、女性が継続して働くことなど、男女共同参画や女性の活躍推進のテーマ等での学習や参加者同士の交流を図る機会を提供しました。</p> <p>「ふくしま“けんせつ・どぼく女子”座談会」</p> <p>内 容：県内の建設・土木会社で働く女性から、仕事の魅力・やりがいや一日の生活の様子などを聞き、働く女性を交えた意見交換を行いながら、女性が建設・土木業界で働く意欲の向上や学生同士のネットワークづくりを行いました。</p> <p>(1) いわき会場 ※オンライン実施</p> <p>開催日：令和6年1月9日（火）</p> <p>参加者：9名（福島工業高等専門学校 都市システム工学科3年生）</p> <p>(2) 郡山会場</p> <p>開催日：令和6年2月7日（水）</p> <p>会 場：郡山女子大学</p> <p>参加者：9名（生活科学科 建築デザイン専攻 2年生）</p>

事業名	③民間団体支援事業
対象者	県内で活動中または活動予定のグループ・団体
内 容	<p>「男女共生を進めるための民間企画応援事業」</p> <p>県内のNPO等のグループが主体となって自主的に企画・実施する講座やワークショップ等を公募して、センターが企画・広報・チラシ作成の協力、会場・設備等の提供、運営協力等の支援を行いました。</p> <p>採択件数：7件</p> <p>採択企画（団体）：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「女性の起業応援します！起業アテンダント個別相談会」（ふくしま女性起業家活躍推進協議会）</li> </ul>

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>• 「創業相談ウィーク in 東北」<br/>(日本政策金融公庫 国民生活事業本部 東北創業支援センター)</li><li>• 「女性創業者応援セミナー」<br/>(福島県信用保証協会 女性支援チーム 雪うさぎ)</li><li>• 「福島の女性は今 “福島県の女性が抱える課題に対する意識調査”<br/>から見えたもの」<br/>(福島県国際女性教育振興会)</li><li>• 女性向け起業セミナー「起業における恐怖との向き合い方講座」<br/>(ふくしま女性起業家活躍推進協議会)</li><li>• 「女性行政書士による女性のための無料相談会」<br/>(福島県行政書士会)</li><li>• 発達障害・子育て支援講演会<br/>「生きやすさを求めて～個を生かす環境を子どもが自ら作るために～」<br/>(class 0-1)</li></ul> |
|--|--|

## 福島県男女共生センター施設利用状況

		日数基準		区分(定員)基準		収入額(円)	前年比 (円、%)	
		可能室数	使用室数	可能区分数	使用区分数			
令和5年4月	研修室	286 室 前年比 78.5 %	84 室 29.4 %	814 室 前年比 74.1 %	126 室 15.5 %	177,500	-130,220 57.7%	
	宿泊室	484 室 前年比 103.2 %	97 室 20.0 %	1,100 人 前年比 103.9 %	132 人 12.0 %	359,800	-4,200 98.8%	
令和5年5月	研修室	286 室 前年比 105.3 %	100 室 35.0 %	814 室 前年比 116.1 %	173 室 21.3 %	306,600	-79,020 79.5%	
	宿泊室	484 室 前年比 369.6 %	207 室 42.8 %	1,100 人 前年比 398.6 %	295 人 26.8 %	1,188,300	823,400 325.7%	
令和5年6月	研修室	286 室 前年比 94.2 %	129 室 45.1 %	814 室 前年比 99.6 %	241 室 29.6 %	426,700	-41,140 91.2%	
	宿泊室	484 室 前年比 198.9 %	177 室 36.6 %	1,100 人 前年比 218.8 %	210 人 19.1 %	802,500	403,000 200.9%	
令和5年7月	研修室	286 室 前年比 84.9 %	118 室 41.3 %	803 室 前年比 81.5 %	220 室 27.4 %	539,240	208,140 162.9%	
	宿泊室	462 室 前年比 75.3 %	125 室 27.1 %	1,050 人 前年比 93.1 %	176 人 16.8 %	745,600	32,800 104.6%	
令和5年8月	研修室	297 室 前年比 105.4 %	117 室 39.4 %	847 室 前年比 113.9 %	229 室 27.0 %	355,760	-502,008 41.5%	
	宿泊室	506 室 前年比 86.8 %	204 室 40.3 %	1,150 人 前年比 94.3 %	267 人 23.2 %	753,500	-174,900 81.2%	
令和5年9月	研修室	286 室 前年比 95.7 %	135 室 47.2 %	814 室 前年比 97.8 %	271 室 33.3 %	416,360	29,120 107.5%	
	宿泊室	484 室 前年比 54.4 %	106 室 21.9 %	1,100 人 前年比 68.8 %	152 人 13.8 %	898,800	141,800 118.7%	
令和5年10月	研修室	286 室 前年比 83.2 %	109 室 38.1 %	803 室 前年比 83.3 %	199 室 24.8 %	243,500	-119,900 67.0%	
	宿泊室	462 室 前年比 88.5 %	131 室 28.4 %	1,050 人 前年比 100.0 %	194 人 18.5 %	781,200	-211,850 78.7%	
令和5年11月	研修室	286 室 前年比 93.4 %	128 室 44.8 %	814 室 前年比 94.0 %	236 室 29.0 %	270,640	-208,440 56.5%	
	宿泊室	484 室 前年比 100.0 %	189 室 39.0 %	1,100 人 前年比 114.4 %	262 人 23.8 %	881,900	-59,500 93.7%	
令和5年12月	研修室	264 室 前年比 93.3 %	111 室 42.0 %	737 室 前年比 90.9 %	190 室 25.8 %	447,920	56,800 114.5%	
	宿泊室	418 室 前年比 94.0 %	78 室 18.7 %	950 人 前年比 102.0 %	102 人 10.7 %	594,400	49,900 109.2%	
令和6年1月	研修室	264 室 前年比 81.5 %	88 室 33.3 %	748 室 前年比 76.4 %	155 室 20.7 %	270,140	-149,700 64.3%	
	宿泊室	440 室 前年比 152.9 %	107 室 24.3 %	1,000 人 前年比 152.3 %	134 人 13.4 %	265,800	-116,400 69.5%	
令和6年2月	研修室	275 室 前年比 92.1 %	105 室 38.2 %	781 室 前年比 91.6 %	175 室 22.4 %	391,340	15,288 104.1%	
	宿泊室	462 室 前年比 90.8 %	69 室 14.9 %	1,050 人 前年比 90.2 %	92 人 8.8 %	515,000	97,952 123.5%	
令和6年3月	研修室	297 室 前年比 118.4 %	103 室 34.7 %	847 室 前年比 122.6 %	163 室 19.2 %	281,020	32,500 113.1%	
	宿泊室	506 室 前年比 94.0 %	94 室 18.6 %	1,150 人 前年比 95.1 %	136 人 11.8 %	589,200	-21,500 96.5%	
合計	研修室	3,399 室 前年比 93.1 %	1,327 室 39.0 %	9,636 室 前年比 93.8 %	2,378 室 24.7 %	4,126,720	-888,580 82.3%	
	宿泊室	5,676 室 前年比 105.5 %	1,584 室 27.9 %	12,900 人 前年比 116.6 %	2,152 人 16.7 %	8,376,000	960,502 113.0%	
※ 宿泊人数は、6歳未満の幼児が寝具を使用しないで宿泊した人数を除く。						収入計	12,502,720	71,922 100.6%

